

新社会党山梨県本部第25回大会

大会宣言

いま世界は大きく動いています。2月24日ロシア軍はウクライナに侵攻し、首都キエフをはじめ東部2州の都市などで激しい攻撃をしています。一方、ソ連崩壊後米国を盟主とするNATOはロシア周辺への軍事的包囲網を拡大してきました。新社会党山梨県本部は、ロシアのウクライナ侵攻に抗議し、直ちに撤退を要求するとともに、即時停戦、平和共存を追求することを関係各国に要求するものであります。私たち日本人は、世界に誇るべき憲法9条を持っています。9条を持つ日本政府の責務は、国際社会の分断を修復し、ロシアの侵略に反対し、アジアの紛争を武力によらないで解決する枠組みを作るために各国に働きかけることです。

しかし、日本の改憲勢力は、ウクライナ侵攻に乗じて、憲法9条を改悪し、自衛隊を9条に明記し、防衛費を10兆円に倍増し、敵基地攻撃能力を持つなど、戦争できる国造りを進めようとする動きを強めています。安倍元首相は「中国・ロシア・北朝鮮からこの国を守るために核共有が必要だ」と述べています。**私たちは、このようなウクライナ戦争を利用した憲法9条改悪を許しません。**

さて、新型コロナウイルス感染症は収まるところを知らず、第5波、第6波となって私たちに襲い掛かり国民生活を苦しめています。丸2年半党活動や地域活動も自粛せざるを得ず、制限された中での活動に苦慮してきました。

そうした中で岸田政権は昨年10月4日に誕生し、即解散総選挙で10月31日投開票の衆議院選挙は、自公与党3分の2獲得を阻止したものの、大躍進した維新の会を含めた改憲派は優に3分の2を超え、憂慮する事態となっています。

一方で、野党一本化した選挙区217のうち野党共闘勝利62か所あり接戦区が増加し野党共闘で自公と対等に闘えることが証明されました。山梨県内においても市民と野党の共闘運動は前進しており、新社会党は微力ながらその運動の一翼を担っています。新社会党に期待する声と果たす役割は大きくなっています。その期待に応えるためには、職場や地域で多くの仲間と共に闘い、学習し、政党としての主体的強化を果たさなくてはなりません。

来る7月の参議院選挙では、党青年女性委員会代表の「おかざき彩子」さんを社民党との共同名簿方式で闘います。山梨県本部も早急に選挙態勢を整え必勝を期して闘う覚悟です。

全党員が一致団結して闘い抜くことをここに宣言します。

2022年4月28日

新社会党山梨県本部 第25回定期大会